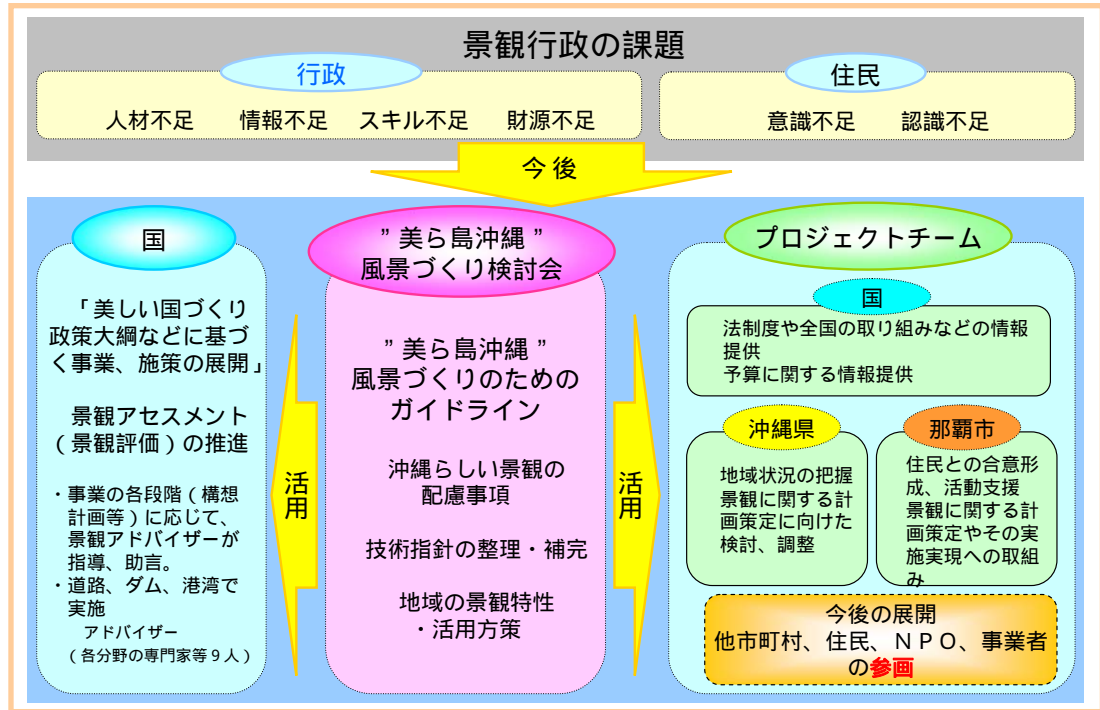


また、ガイドラインの策定にあたっては、観光・産業・景観等各分野を専門とする学識経験者や経済団体等で構成する“美ら島沖縄”風景づくり検討会において、「沖縄らしい風景づくり」に寄与する社会資本整備のあり方等について調査・検討を行います。策定後は、下図の体制をもって景観行政を推進します。



プロジェクトチームとは、国・県・市町村による景観形成推進のための部会です。H16年度では、国・県・那覇市の三者で取り組んでいます。

(2) 景観アセスメントの推進

昨年度から取り組んでいる景観アセスメント試行事業（名護東道路、億首ダム、平良港）の景観評価を推進します。また、試行結果を踏まえ、公共事業における景観アセスメント（景観評価、システムの構築）の更なる展開を推進します。

(3) 予算による支援（目未定経費の活用）

1) 景観形成事業推進費

景観法に基づく景観計画区域等において実施される良好な景観形成に係る公共事業を推進するための経費である景観形成事業推進費（平成16年度創設）を活用し、下記を対象に良好な景観形成の推進に努めます。



1. 適用対象事業

景観計画に定められた事業
 景観計画区域又は景観地区において行われる良好な景観形成のための事業
 風致地区又は屋外広告物条例が定められている地区において行われる良好な景観形成のための事業

2. 具体的な整備イメージ

歴史的風土を保全する治山事業や緑地の整備
 ・買収等
 伝統的街並みの整備
 風情ある橋や河川環境の整備
 周辺と調和し、利用しやすい広場や休憩施設の整備

2) 都市再生プロジェクト事業推進費

都市再生プロジェクト事業推進費を活用し、環境、防災、国際化等の観点から都市の再生を図るため実施する都市再生プロジェクトを推進します。

・地域づくりにむけた支援

ホームページを活用し、「美ら島沖縄づくり応援団」として各種情報提供等による支援を実施します。ホームページでは沖縄総合事務局の主な支援策として、暮らしやすい地域づくり、活力ある地域づくり、自然・農業・漁業を生かした地域づくり、安全・防災に強い地域づくり、など閲覧者の参考となる支援事例や“手作り郷土賞”を受賞した優良事例の掲示、地域づくり活動の支援・補助制度などを紹介し、より良い「美ら島」づくりに努めます。

・防災対策の強化

大雨や台風による集中豪雨や土砂崩れ、地震などにより、万が一災害が発生した場合、迅速かつ的確にその場所情報収集、提供を行います。さらに、衛星通信車や対策本部車等を活用し、迅速な応急復旧対策を実施します。また、H17年度から新たに沖縄本島に繋がる離島架橋等について、通行規制の情報提供をホームページ（道路ポータルサイト）により実施します。

自治体等への災害対策支援として、平成17年1月より「災害情報普及支援センター」を設置し、防災情報の収集・予測・発言等に関わる技術的支援及び助言、防災対策に関わる啓発活動などを行います。

平成17年度より、新たに防災対策官を設置します。

災害情報の収集



衛星通信車

災害時の対応



対策本部車

災害対策支援



災害情報普及支援センターHP